**出版企画書**

名 前：

**タイトル**

・結論とズレがないか

・サブタイトル、キャッチコピーとダブってないか（補完し合う関係がベスト）

**著者名／肩書き**

・肩書き…本書の内容を語るのに相応しい肩書きか

**概要 （800文字程度）**

・タイトルの言葉を補完できているか

・※タイトルにある〜メソッドなどは必ず説明する

**＜書き方の例＞**

1. **「本の概要 」**

この本は〜に向けた…の本である。

1. **「社会的な背景・読者ターゲットを取り巻く課題」**

〜には、現在…といった課題がある。この本は、そんな課題を次のような方法で解決する。

1. **「具体的な解決方法（コンテンツの具体） 」**
2. **「類書と対比してどう違うのか（この企画の特徴）」**

〜に関する本は多くあるが、…に焦点を当てた本はない。本書では、…に焦点を当て、

具体的にステップを示すことで、読者の悩みを解決に導く。

**ターゲット**

・どのような人に届けたいか

 **プロフィール（600文字程度 ）**

・数字を入れると説得力が出る

**＜書き方の例＞**

1. **「本書を書くきっかけ・動機 」**

〜ということに悩んでいたが、…に出会い、◯◯メソッドを開発。世の中に広く広めたいと思い、本書を書くに至った。

1. **「自信がこの本を執筆するにあたり相応しいとプレゼンテーションできる実績現在」**

〜に取り組み、講演会を実施するなど啓蒙活動に努めている。

1. **「これからの展望」**

◯◯メソッドで、全ての人の〜という悩みを解決したいと思っている。

**内容／構成（もくじ） （各項目5～6個程度）**

・見出しの言葉から内容がイメージできるか

・「～について」はできるだけ避ける→具体的な言葉で

< ロジックツリータイプ >

1. 読者とのつながり・前提共有
2. この本の大きな結論
3. 結論の補強・理由
4. 具体事例・方法
5. 結論（さらに広げる）

< 並列型 >

1. コンテンツの紹介
2. コンテンツの具体
3. コンテンツの具体
4. コンテンツの具体

 …読者が理解しやすい順番でだんだん深くしていく

まとめ

**＜書き方の例＞**

※「はじめに・おわりに」は３〜４個、それぞれの章７個程度の項目

はじめに

・

・

・

１章

・

・

・

・

・

・

・

２章

３章

４章おわりに